

特定非営利活動法人市民社会サポートやまがた 第2期(2022.6.1~2023.5.31) 事業計画

第2期事業計画書の作成にあたって

2021年11月1日の法人設立以来、特定非営利活動法人市民社会サポートやまがたとして、中間支援のあり方、課題解決の方法は常に模索してきました。初年度を終え、方向性も見えてきたところで、そうしたことも踏まえて、第2期の事業計画書をつくりました。

特定非営利活動法人市民社会サポートやまがたは当初より、個別の支援を重視してきました。

今期は、山形県の非営利セクターの現状・課題の調査を行ったり、個別の支援を行ったりし、さらに課題解決にもつなげていく予定です。

この事業計画書では、今期の事業の大きな方針を示しました。各事業の詳細については担当者間でより詰めていきたいと思えます。

ミッション（何をする団体か？）

山形の社会をよりよくしたいと活動する人や団体(組織)のために、市民の参加を応援したり、NPOの自立による持続可能な活動をサポートしたりする

ビジョン（どのような社会を目指すか？）

人が互いを大事にし、尊重し合う関係性が基盤となる豊かな市民社会の実現

活動における原則

1. 信頼の原則

「自分の力を社会の役にたてたい」と頑張る人や組織には、社会を変える力があることを信じ、いきいきと活躍できるサポートを行う

2. 互敬の原則

人を大切に、互いに尊重し合う関係性を築く。

2022年度の活動においては以下のことに重点を置きます。

事業に関して

① 課題の可視化により、課題への認識を社会に共有する。

団体・個人のヒアリングや内閣府の報告書より、山形県内で活動する市民公益団体が抱える運営・財務上の課題を明らかにする。

② サポやまの活動にかかわる人を増やす。

サポやまの活動の幅を増やし、より大きな社会的成果を生み出すため、サポやまの仲間づくりの機会を増やしていく。

組織運営に関して

① 認定 NPO 法人の取得を目指す

認定を取得することで、団体の信頼性を高める。また、自らが認定取得することで、ノウハウを認定取得支援に活かせるようにする。

② サポやまの活動を関係者・関係機関に伝えていく。

サポやまがどのような団体で、何を行っているのかに対する情報発信が不十分だったことから、紙媒体での情報発信も行っていく。ステイクホルダーづくりの強化

市民社会サポートやまがたは伴走型中間支援を行います。

1) 伴走をおこなう団体の課題解決までサポートします。

2) サポートのながれ

- ① 相談・ヒアリング 個別案件に対して、課題のほり起こし
- ② 個々のプロジェクトにおける、課題の可視化により、目標設定と担い手の強化
- ③ プロジェクトに対して、ファシリテーションを行ったり、裏方として活動したり、バックオフィスを行っていく
- ④ 課題解決のしくみの実現。安定化までの継続的な支援と、そのプロジェクトの評価各主体が、連携しそれぞれの役割を果たしていく。

事業に関する目標

1) 相談・コンサルティング

個別相談、継続的な団体運営サポートなど。ひとつひとつのケースに応じた丁寧な相談対応と、経験と記録の積み重ねを行います。

目標値：相談件数 50 件 継続的な支援を行う団体運営サポート数：10 団体

分類	対象	目的	内容
個別相談	社会をよりよくしようとして活動している人や組織。営利・非営利、行政・民間、法人格の有無は問わない。	団体や個人が活動を行う上で抱える困りごとや課題の解決のサポートをすることで、その団体・個人の本来の活動を促進させる。	活動上の課題等についての個別相談。1回1時間程度で随時実施する。
目標達成サポート			法人化、寄付集め、助成金申請、事業計画作成、報告書作成など、目標を決めて、目標達成までの継続的サポートを行う。
運営支援サービス			団体の運営について1年単位での継続的な個別サポートを行う。毎月の訪問と、随時の対面・ZOOM・メール相談を実施する。

2) 社会参加・課題解決のしくみづくり

市民活動団体・NPO との連携推進、地域での協働推進など

目標値：ネットワークの設立及び支援 2 件

3) 調査・情報提供

NPO の環境調査（内閣府報告書からの財務分析）で、社会的課題の可視化を図っていく。
助成金情報や組織基盤強化の情報の提供。

目標値：内閣府報告書からの財務分析 山形県内の NPO 法人 430 団体
助成金情報の提供と申請サポート 10 団体

4) 人材育成・ネットワークづくり

講師派遣、講座・交流会開催など

目標値：講師派遣 10 件 講座の開催 10 件 交流会開催 5 件

分類	目的	内容
講座の開催	NPOの組織基盤強化、ボランティアや市民活動に関わる人のスキルアップを図る。	資金調達や、組織評価・組織マネジメント等のテーマで講座を開催する。 ボランティア・市民活動などの基盤づくりの講座の開催。
講師派遣	市民活動を担う人のスキルアップを図る。	要請に応じて、研修などの講師派遣を行う。
勉強会・交流会等の開催	ステークホルダー間での問題意識や情報の共有、ネットワークづくりを行う。	テーマやニーズなどに応じて、勉強会や交流会などを開催する。

組織運営に関する目標

認定 NPO 法人取得

認定 NPO 法人取得を目指します。認定取得までの手続きや準備については、できるだけ記録を残し、他団体の支援にもつなげられるようにします。

会員・ボランティア

会員やボランティアの参加を募り、サポやまの活動を通して社会づくりにかかわる機会を増やします。

寄付

個別支援を強化したり、連携先を増やしたりすることで、関係団体に寄付を呼びかけます。

広報

パンフレットを作成し、サポやまの団体情報をわかりやすく伝えられるようにします。

ホームページ・SNS を積極的に使い、サポやまが取り組んでいる事業を関係者に伝えていきます。

理事会

原則として 2 カ月に 1 回理事会を開催し、日常的には ZOOM、SNS で情報共有・意見交換をすることで、機動的な組織運営を行っていきます。また、必要に応じ、役員間での打合せやケースカンファレンスを行います。